

◇東京教区支援対策本部(長・後藤務財政委員長)を設置 本部内支援物資補給部「1264」7353」が現在物資の受付(15日締め)と発送などを行っている。支援物資送付は事前に連絡を。

◇倉澤一太郎新執事誕生 4月2日(土)14時から聖アンデレ主教座聖堂において、大畑喜道教区主教司式、小笠原忍司祭説教で、執事按手式が執り行われた。同師の出身教会、またこれまでの勤務教会など関係者多数が臨証した。

信仰と生活委員会報告

(3月24日)

*宣教主事報告、各委員会・教会グループ等の報告。

*4月から橋本克也司祭を新委

員として迎える。

*『裸足の宣教』の出版状況と今後の計画について協議。点訳版を作成している。

*『こども聖歌集』作成のための資料とすべく全国の聖公会系の幼稚園・保育園にアンケート調査中。

*「こどもの聖歌を歌う会」のポスター案を作成。

▽BSA研修バスツアー 横

浜方面歴史探索。27日(水)9時、川崎駅東口集合(雨天決行)。4千円(昼食含む)申込期限12日(火)。照会・申込103(3436)4325・同会。

【大斎節公開プログラム】7

▽棕櫚の十字架作り・10日(日)聖教主11日曜学校礼拝後・16日(土)八王子13時。

◇支援対策本部より◇

支援対策本部が立ち上がり、徐々に活動を開始し始めました。現在は、当初からの支援物資活動を継続すると共に管区対策本部と連絡を取りながら、活動範囲を広げていくことを考えております。現在までに、皆様にご協力いただき、他教区分も含め約8トンの支援物資をお送りすることが出来ました。また、東北教区で使っていたため、車両2台を現在手配中です。5月には東北教区の教会が緊急事態の中で礼拝が守れるように聖職のご協力も仰ぐことになっています。教区の皆様には長期にわたり募金を始め様々な支援をお願いすることとなりますが、よろしくお願いいたします。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】80

「聖公会東京311ボランティアチーム」の活動

東京武道館(足立区綾瀬)に、大震災による福島原発事故の被災者数百人が避難してきたという一報を受けたのは3月18日の夜でした。翌朝、野宿者支援関係の法律家グループとともに東京武道館に行き、食事が提供されていないことを知りました。

「せめて温かい一食を」という思いで、炊き込みご飯の差し入れを即決し、当日300食を作って運びました。これが「聖公会東京311ボランティアチーム」の始まりでした。翌20日には420食、22日には300食を、23日には山谷の数団体共同の炊き出しに協力しました。

この間東京都に要望し続けた「行政による3食の提供」は、24日に実現、開始されました。

私たちの活動は、法律家を中心に立ち上げられた「とすねつと(東京災害支援ネット)」とも連携しており、炊き込みご飯のお弁当は、各種制度や法律相談などの情報を織り込んだニュースレターやアンケートの配布、避難所の方々との交流のきっかけ作りなど、「食」以外にも大切な役割を果たしました。

現在、東京武道館への食事の差し入れは行っていないませんが、とすねつとや他団体と共に、東京ビッグサイトなどの避難所も含め、中期支援を検討中です。

また3月30日には、別の要請を受けて、福島県いわき市中心

部の避難所に温かい豚汁400食を運びました。さらにそこで出会った地元の青年の要請に応じて、非常に厳しい状態に置かれている四倉地域の避難所にも行き、炊き出しを行いました。

現地に行つて、報道では得られない細かいニーズを知ったので、今後もいわき市での支援活動を続けることにしました。

大規模な支援は、すでに管区教区で組織的に行われています。私たちは、野宿者支援活動で培った経験と小回りの利く小ささや瞬発力を生かし、温かい食事を届け、その時必要な「もの」「こと」に即座に応える、そんな活動をしたと思っています。

「聖公会東京311ボランティアチーム」 楡原民佳